

ながさき<sup>けんぱん</sup>県版 もくじ

心を育てる道徳教材集

1 あさがおの かんさつ …………… 2

2 いただきます …………… 6

長崎っ子に贈る50の話

3 よろこんではたらく子ども …………… 10

情報モラル指導教材及びトラブル対応マニュアル

4 きずついたところ …………… 14

5 けいじぶつへのらくがき …………… 18



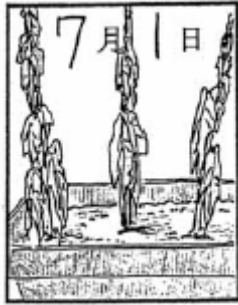
あさがおの めが 出でました。  
はっぱが 二ふたつ ついて いました。  
どんだん 大おおきく なあれ。



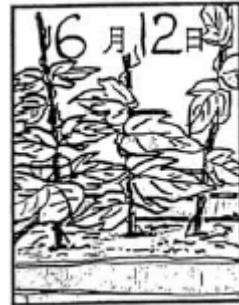
あさがおの たねを  
三みつつ まきました。

1 あさがおの かんさつ

のはら みどり



水<sup>みず</sup>やりを わすれたので  
はっぱが しおれて いました。  
いそいで 水<sup>みず</sup>を あげました。  
しんぱいで たまりません。



はっぱが たくさん 出てきました。  
つるが ぐんぐん のびて きたので  
ぼうを 立<sup>た</sup>てました。



たねを とりました。  
百ひゃっこも とれたので びっくりしました。  
たねって ふしぎだな。  
らいねんも まきたいな。



花はなが たくさん さきました。  
赤あか ぴんく むらさき  
とても きれいです。  
たねも できて いました。

月 日
-----

--

## 2 いただきます

ぼくは、きゅう食しよくが大だいすきです。とくに、チャンポンが大だいすきです。

でも、にがてなものもありません。それは、魚さかなとニンジンです。

学校がっこうできゅう食しよくしゅう会かいがありました。校長先生こうちょうせんせいが、「きゅう食しよくは、えいようのバランスを考かんがえて作つくってあります。だから、できるだけだけのこさないように食たべましょう。もう一つひとつ大切なことたいせつなことがあります。私わたしたちはいろ

いろな 生きもののいのちを いただいて 生きています。  
ありがとうの 気もちを こめて 「いただきます」と あ  
いさつを しましょう。」  
と、話を されました。

ぼくたちは、教室に もどって、もういちど 「いただきま  
す」について 話し合いました。先生が、  
「今日の きゅう食は、チャンポンでしたね。どんな 生きも  
のが 入って いましたか。」

と、たずねられました。みんなは、くちぐちに、

「ぶた肉。」

「イカ。」

「かまぼこ？」

などと、こたえました。

「それだけですか。ほかにも、まだ

たくさんありますよ。」

「えっ、まだあるんですか。」

「かまぼこも、もともとは さかな 魚ですね。

それに、チャンポンの こむぎ めんは、小麦こ

からできていますよ。キャベツも、

はたけで い生きていました。モヤシ

も、い生きていましたよ…。」

そこまで き聞いて、ぼくは きはっと気がつきました。





（そうか、どうぶつ だけじゃ なくて、野さいも くだものも、  
ぼくたちが 食べる ものは、もともとは みんな 生きてい  
たんだ。）

お友だちが、

「今日の チャンポンは、ぜんぶ 生きものから できていま  
す。」

と、言いました。ぼくも、

「だから、『いただきます』と、あいさつ するんですね。」  
と、言いました。そして、ぼくは、

（魚さかなや ニンジンも、これからは がんばって 食べよう。）  
と 思いました。

### 3 よろこんではたらく子ども

「きょうは、とつてもうれしいおはなしをします。」

あさのかいのにきに、せんせいが、にこにこしながら  
おっしゃいました。

（なんだろう。）

とおもっていると、せんせいは、れんらくノートを、よ  
みはじめられました。

きいているうちに、

（あつ、わたしのだ！）

とわかり、わたしははずかしくなって、下をしたむいてしまいました。

れんらくノートには、きのう、わたしが、いえのてつだいをしたことが、か



いてありました。

「一いちねんせいになって、こんなに大おおきくせいちょうしたかとおもうと、とってもうれしいですと、えつこさんのおかあさんは、かいていらっしやいます。せんせいも、これをよんで、うれしいです。みんなが、だんだん、わたしたちのめあての一ひとつ、よろこんではたらく子どもにちかづいているので、せんせいは、にこにこです。」

と、せんせいは、わらいながらおっしやいました。

「よろこんではたらく子ども」、とってもいいことばでしょう。わたしは、このことばが、だいすき。

こうちようせんせいが、二にがっきのしぎょうしきの日ひ、「こんな、子どもに

なるう。「と三つみつのことをおっしやいました。その中なかの一ひとつに、「この」よろこんで、はたらく子どもこにもなるうね。」というのが、ありました。

だから、わたしは、いつも、このことばをおもいだしてがんばっています。

わたしだけでは、ありません。—ねんせいいちのみんなが、そうです。

「ごみすてにいつてくれる人ひと。」

と、せんせいが、いわれると、みんながてをあげます。

ときどき、しごとをとりあって、けんかになることもあります。

「しごとをしてくれるのは、うれしいけど、けんかは、だめよ。」



せんせいは、おこるけれど、でも、とつてもうれしそう。

（みんなも、「よろこんではたらく子ども」をめあてに、がんばっているんだなあ。）とおもいました。

だから、いえのてつだいも、すすんでしたのです。ふきそうじ、きゅうりのしおみ、せんたくものたたみ。いやいやしたら、「よろこんではたらく子ども」にならないので、じぶんから、すすんで、いっしょうけんめいしました。

みんなのまえで、せんせいからほめられて、ますますやるきが、わいてきました。

「よろこんではたらく子ども」、このことばを、いつもわすれずに、がんばります。

## 4 きずついたころ

わたしとゆうこさんは、なかよしです。

ゆうこさんは、べんきょうがよくできるので、わたしのお母<sup>かあ</sup>さんは、いつもゆうこさんのようになりなさいといっています。

ある日<sup>ひ</sup>、クラスの子<sup>こ</sup>が、はり出<sup>だ</sup>されていたゆうこさんの絵<sup>え</sup>を見て「この絵はすごくうまいね。」とほめたので、つい「この絵<sup>え</sup>はゆうこさんのお兄<sup>にい</sup>ちゃんがかいた絵<sup>え</sup>なんだ。ゆうこさんて、よくお兄<sup>にい</sup>ちゃんにしゅくだいをしてもらっているんだよ。」と言<sup>い</sup>ってしまいました。

しばらくして、ゆうこさんがわたしに言<sup>い</sup>いました。

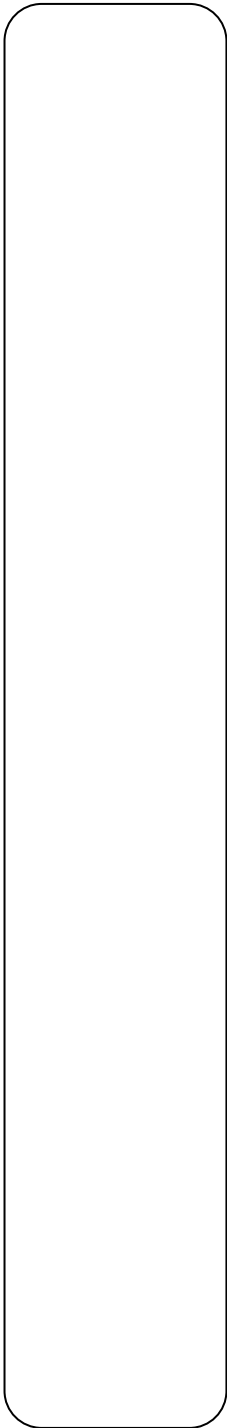
「『あの絵<sup>え</sup>は、お兄<sup>にい</sup>ちゃんがかいたんでしょ。』と友<sup>とも</sup>だちに言<sup>い</sup>われたんだ。自分<sup>じぶん</sup>がかいた絵<sup>え</sup>なのに、人<sup>ひと</sup>にかいてもらったなんて言<sup>い</sup>われて…。もう学校<sup>がっこう</sup>になん

か行きたくないよ。」

わたしは、「気にすることないよ。」と言いましたが、わたしもなんだか学校に行きたくない、いやな気もちになってしまいました。

つぎのことについて はなしあってみましょう

1 わたしは、なぜ、ゆうこさんのかいた絵のことで、うそをついたのでしょうか。



2 ゆうこさんから「学校がっこうになんか行きたくない」と聞きいて、なぜ、わたしも学校がっこうに行いきたくないという気きもちになったのでしょうか。

3 先生せんせいやみんなの話はなしを聞きいて、おもったことをかきましよう。





## 5 けいじぶつへのらくがき

わたしはなかよしのゆうこさんと、今日みんなで作った町たんけんの地図について話しながら家にかえりました。つぎの日、教室にはつてある作ひんを見ようと、早おきをし、いそいで学校に行きました。教室に行くと、うしろのけいじばんにたくさん人があつまっています。

「どうしたのかな。」とおもっていると、さきに来ていたゆうこさんが、「たいへん。たいへん。」と言いつつながら、わたしをけいじばんのところへ引っぱっていきましました。

「あつ。」

そこには、いたずらがきされた作ひんがありました

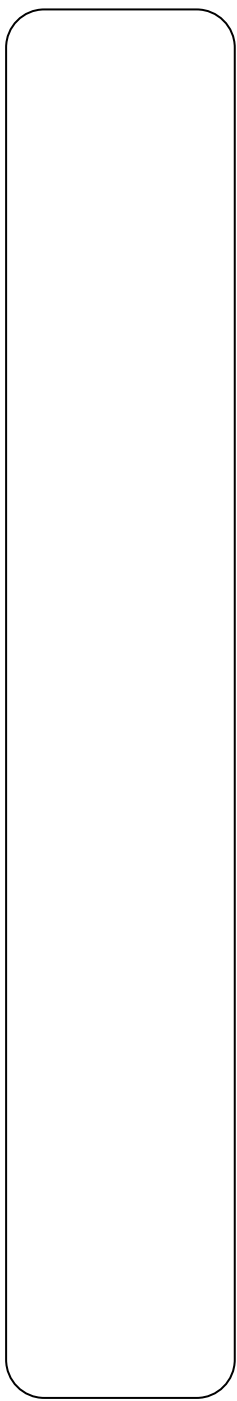


た。

朝あさの会かいで、先生せんせいが「だれが、らくがきしたの。」とみんなに聞ききましたが、だれも何なにも言いいませんでした。

つぎのことについて 話しあってみましょう

- 1 町まちたんけんの地ち図ずを作つくっていたとき、みんなはどんな気きもちだったでしょう  
か。



2 らくがきを見たとき、わたしはどう思ったでしょうか。

3 先生せんせいが「だれが、らくがきしたの。」と聞いたとき、らくがきをした人ひとはどんな気きもちだったでしょうか。

